

## 小ぎくの収穫調製作業に影響を与える要因と改善方向

### 【1 成果概要】

#### (1) 収穫作業

収穫に要する時間は、小ぎくを収穫しながら畝間を歩く距離の短いほど短くなります(図1)。

栽培管理の徹底等により生育の斉一化を図り、一定数量の収穫に要する移動距離を短くすることが重要です。

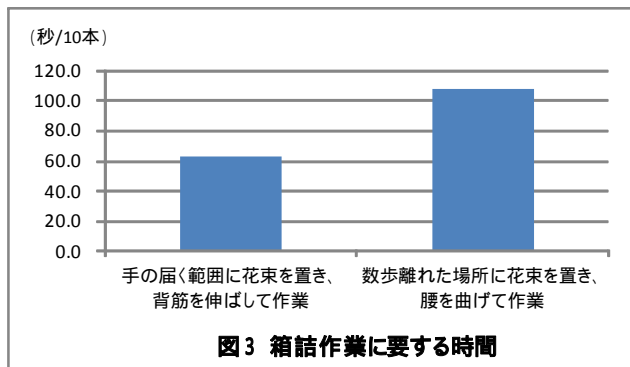
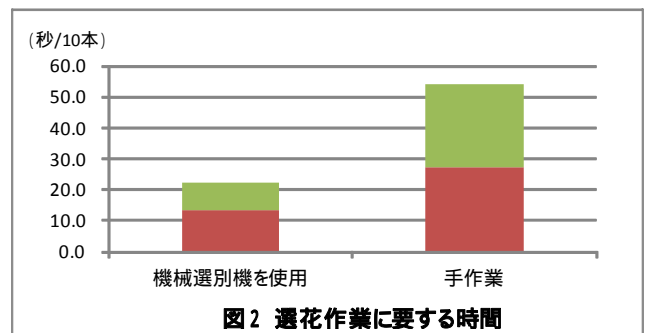
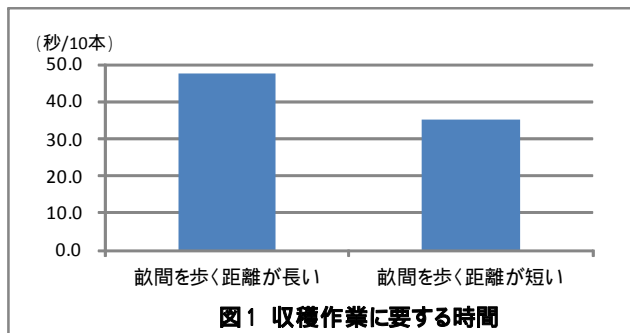
#### (2) 選花作業

選花作業は茎長の確認作業と10本ずつ揃える作業に分けられますが、茎長の確認作業に要する時間は機械選別機を用いた方が短く、また、機械選別機を用いることにより選別された小ぎくの茎頂が揃うため10本ずつ揃える作業の時間も短縮されます(図2)。

#### (3) 箱詰作業

手の届く範囲に花束を置き、背筋を伸ばした姿勢で作業することで作業時間が短縮します(図3)。

できるだけ身体の動きを少なくし、身体への負担の少ない姿勢で作業することが重要です。



- 1 手の動作はできるだけ最小の動作に限定すること
  - 2 手や目以外でできるものを、手や目でしないようにすること
  - 3 不自然な姿勢や身体の重心を上下する動作をしてはならない
  - 4 ものの人力移動には上下移動をさけて、水平移動をすること
- (出典:「作業分析の進め方」  
(遠藤健児・坂崎春樹著) 日刊工業新聞社)

参考 動作経済の原則の例

### 【2 効果】

小ぎくの収穫調製作業の作業効率を高めることができます。

### 【3 適応対象】

小ぎく生産者